

山形地区のビジョン



「山形地区に住んでよかった！」 と思える地域づくりをめざし、活動しています。

山形地区の基礎情報

集落数と位置

12 集落 (篠坂・毛谷・郷原・大内・米原・西野・浅見・中島・池本・大呂・芦津・八河谷) あります。また、海拔約204m~461mに位置し、四方を山に囲まれる山村集落です。



世帯数と人口

399 世帯 **1,183** 人が暮らしています。
(平成22年4月現在)

高齢化率

37% (平成22年4月現在)

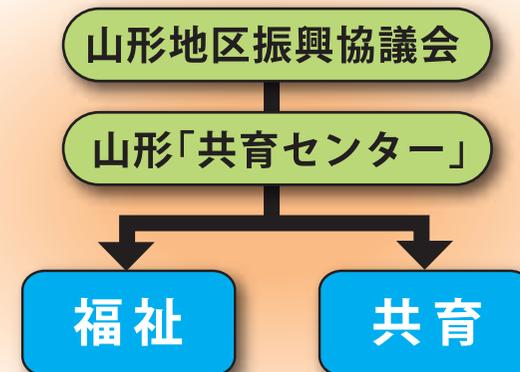
設立の目的

山形地区振興協議会 (以後協議会と略す) は、こらからの地域社会の将来を見据え、地域内外の人材ネットワークを最大限に発揮し、持続可能な社会を実現するため、「ゼロに帰するか、イチを守るか」地域のための運動を展開することを目的に平成20年4月に設立しました。



運営体制

旧山形保育園内に、「協議会事務所」及び「共育センター」を置き、会長を筆頭に、25名(平成20年4月時点)の役員を核として、「福祉」「共育」の2本柱の構想もと、活動を展開しています。



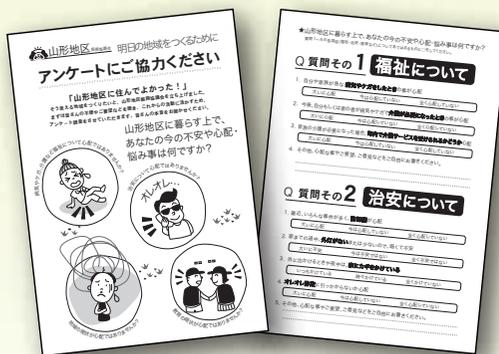
これまでの取り組み

京都大学の教授による講演会を開催

京都大学総合人間学部の教授であり、協議会の共育センター長でもある杉万俊夫教授に、これから協議会が計画づくりを行うにあたり、ヒントになるキーワードを「**創造的昔がえり**」という演題でお話いただきました。

地区住民アンケートの実施

協議会の活動を、地区住民の思いに沿う活動内容にするため、地区内全戸全てにアンケート調査を行いました。調査の内容は5項目で、福祉・治安・教育・地区の現状・協議会について問いました。



「福祉」に関する特別講演を開催

事業計画の1つめの柱である「福祉」について知識を深めるため、岡山大学の田内雅規教授と中村孝文准教授他、大学院生の方々にお越しいただき、「ユニバーサルデザイン」「福祉用具活用技術」「障害者の行動特性」などについてお話いただきました。

地区住民アンケート結果を報告

地区住民アンケート調査結果をまとめ、地区全戸に配布しました。

山形社会福祉大会&共育セミナー(国際版)開催

山形地区の福祉の現状について話し合い、フランスとパキスタンの福祉についても教えていただきました。(ゲスト:杉万教授・京都大学の学生・フランスからシャミーヴァさん・パキスタンからカムランさん)



福祉もちつき大会&福祉座談会を開催

木工教室や竹とんぼづくり、わら細工を楽しみつつ、餅つきやカニ汁をみんなで作り交流を深めました。



山形いきいきサロン開設

地区住民の皆さんの憩いの場として、旧山形保育園を活用していただこうと、山形いきいきサロンを開設しました。

これまでの取り組み

誕生日会を毎月開催

年齢を越え、誰でもが参加していただけるよう、お誕生日会を毎月開催しました。内容は、ケーキづくりや流しそうめん、芋煮会やグランドゴルフなど、みんなが楽しめるようなことを行いました。



伊丹市の『いたまちSNS』と交流

地域情報化セミナー in 兵庫に参加して交流が始まった『いたまちSNS』のメンバー（商店街の方・高校生・大学生など）に地元案内や、学生から話を聞くなど交流会を行いました。

兵庫県西播磨 豪雨災害復興支援事業「古タオルを送ろうプロジェクト」に参加

2009年8月9日に佐用・千種・穴粟町を見舞った豪雨災害後、各地域 SNS が呼びかけた「古タオルを送ろうプロジェクト」に参加。協議会から約 350 本の古タオルを送りました。

県外から来られたお客様との交流会

東京・京都・兵庫・福岡から田舎体験をしに山形地区に来られた方をお迎えし、地区の秋祭りや民泊を体験していただきました。

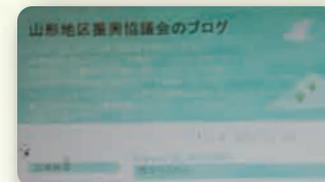


山形小学校 1・2 年生と交流授業開催

協議会メンバーが山形小学校 1・2 年生を指導し、水鉄砲やすず玉鉄砲、どんぐり人形などを作り、交流授業を行いました。



協議会のブログを開設



地区社協の視察に参加

木造小学校の廃校利用を学ぶため、広島県三次市『ほしはら山の学校』と庄原市口和郷土資料館を視察しました。



将来に向けての取り組み

地区住民の生の声(アンケートを受けて)

福祉

毎日が安心できる生活を!

- ❖ 病気やケガをしても自宅で療養したいな。
- ❖ 独り暮らしでも生活できる環境がうれしいな。
- ❖ 日用品・食料品が地元で気軽に手に入るとうれしいな。
- ❖ 家族と仲良く暮らしたいな。

教育

子どもたちと共に育む環境を!

- ❖ 山形地区の歴史を伝えたいな。
- ❖ 地域の子どもたちが、地元の人々と交流を通じて心豊かに育ってほしいな。
- ❖ 子たちが成長した際、地域を自慢できる教育をしていきたいな!

現状

地域の活気を戻し、楽しい地域づくりを!

- ❖ 農林業の後継者育成を目指したいな。
- ❖ 文化の伝承をもっと積極的にやていきたいな。
- ❖ 地元で働ける環境をつくり、地域内で安心して生活できる魅力ある場所にしていきたいな。

治安

犯罪のない地域をめざして

- ❖ 家族が安心して住める地域であってほしいな。
- ❖ 心配事を気軽に相談できる窓口があると助かるな。
- ❖ 普段から隣近所と仲良くお付き合いをして、いざという時は皆で力を合わせられる地域であり続けたいな。

協議会

地域住民の絆を深めて

- ❖ 少子高齢化をふまえて、ディサービスや介護など福祉の充実を実現してほしいな。
- ❖ 山形地区を活気ある地域にしてほしいな。
- ❖ 他県交流や外国の方々との交流を行い、見識を深められる活動を展開してほしいな。

現在の山形地区の宝

山形地区の各集落にはそれぞれ宝があります。それは山や川といった自然はもちろん、公園や学校など、人々のよりどころとなる拠点や、代々受け継がれた祭りなど、山形地区には『素敵』がいっぱい詰まっています。



どうだんつつじ公園

どうだんつつじが咲く憩いの公園です。



浅見であい公園

山の中にログハウス&広場があり、宿泊も可能です。



観喜寺



四季折々に輝く田んぼ



大呂発電所



鳴滝



蛭井神社

県指定・天然記念物の社叢(神社の森)を持つ神社。例祭では、県指定文化財の『花かご』と『麒麟獅子舞』が奉納されます。

いろりの家



水辺の公園



県道373号線・智頭急行・姫路鳥取線が交わる場所



未来の山形地区

地域住民が暮らしやすく、笑顔が行き交う地区であり続けたい！
 また、自然豊かで人情豊かな山形地区に、外から新風を吹き込んでいただき、常に発展的な地区の未来を創造していきたい！と活動しています。



各種名人バンク

ミニティサービス

各種カルチャー

山形地区の未来に向けて 希望がなる木を育てています!

見守りあう
地域

協力し合う
地域

活気のある
地域

共に育む
地域

福祉の充実
した地域

伝統を
受け継ぐ
地域

安心・安全
な地域

支え合う
地域

山形地区振興協議会・各種団体